



一般社団法人幹・一般社団法人幹らんど  
代表理事 丸山 美智子さん

誰もが気軽に相談できる場を育て  
「笑顔の瞬間」を地域に広げていきたい

## 畳の上から広がる支援のかたち

**児**

童発達支援事業（通所型の発達支援）が始まったのは5年前です。訪問看護で関わっていた医療的ケア児のお母さんが「仕事をしたい」と話したことが大きなきっかけでした。

ベッドではなく床や畳で視界を広く伸び伸び過ごせる場、仲間と一緒にわいわいがやがやと安心して過ごせる場、という2点にこだわりました。春や秋から冬は散歩、夏は毎日プールというように、自然の中で五感を刺激する遊びを積極的にを行っています。職員も一緒になって全力で遊びますが、夏の終わりには子どもたちの体力の伸びに驚かされます。

「保護者の会」では「気軽に相談できる場所がなかった」という声が多く「Cafe みき」を開所しました。近所の人や知り合いから「ここで相談してみたら」と紹介してもらえる、**身近で親しみやすい場**を目指しています。秋祭りや電車体験、キャンプ体験などのイベントを通じて新しい経験を重ね、地域に根ざした支援を一步步広げていきます。こうして、**幹の理念である「笑顔の瞬間」を地域に広げていきたい**と考えています。



NPO 法人 near  
代表理事 加藤 亜里沙さん

つながるとは「支える／支えられる」  
だけではなく「共に生きる」こと

## 笑顔がつなぐ地域の支え合い

**私**

は、医療的ケア児の母親です。娘との日々は奇跡であり、愛おしさと、不安と、葛藤の積み重ねです。ときに押しつぶされそうになりながらも、ふとした笑顔に救われ「この瞬間を大切にしたい」と心から思います。

しかし、その思いだけでは届かない現実がありました。どんな命も平等に、特別ではなく当たり前に地域で生きられるように。誰もが暮らしやすい街をつくりたい。その願いから、私は「near」を立ち上げました。活動の中で気付いたのは、笑顔の力です。娘や家族の笑顔、医療的ケア児者や重症心身障がい児者とそのご家族、そして関わってくださる方々の笑顔。その笑顔は、ただの笑顔ではありません。お互いを自然に大切にできるからこそ生まれ、ありがとうの言葉が連鎖し、心がふんわり温かくなります。その瞬間に立ち会った「やってきてよかった」と感じます。

nearには、その笑顔と優しさの循環を広げたいという願いを込めています。「**支える／支えられる**」を超えて「**共に生きる**」つながりが巡る地域を、これからも一步步築いていきたいと思っています。